



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月28日

上場会社名 南海辰村建設株式会社

上場取引所

東

コード番号 1850

URL <https://www.nantatsu.co.jp>

代表者(役職名) 取締役社長

(氏名) 浦地 紅陽

問合せ先責任者(役職名) 経理部長

(氏名) 南部 学史

TEL 06(6644)7805

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	33,685	△7.7	1,773	29.1	1,792	28.9	1,235	30.4
2025年3月期第3四半期	36,481	13.0	1,373	66.9	1,390	80.0	947	82.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,291百万円( 36.8%) 2025年3月期第3四半期 943百万円( 80.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	42.87	—
2025年3月期第3四半期	32.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	34,002	18,408	54.1
2025年3月期	42,867	17,290	40.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 18,408百万円 2025年3月期 17,290百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	6.00	6.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	48,500	△8.4	2,230	△6.3	2,240	△6.2	1,520	△11.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	28,835,730株	2025年3月期	28,835,730株
2026年3月期3Q	8,177株	2025年3月期	8,131株
2026年3月期3Q	28,827,590株	2025年3月期3Q	28,827,663株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
3. 補足情報 .....	8
受注高、売上高及び次期繰越高 .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、各種政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、物価上昇の継続や米国の通商政策の影響、金融資本市場の変動等の影響など、景気の先行きは不透明な状況にあります。

この間、建設業界におきましては、公共投資は補正予算の効果もあって底堅く推移し、民間設備投資も堅調な企業収益を背景に持ち直しの傾向にあるものの、建設資材価格の高止まりや慢性的な労働者不足などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは「3カ年経営計画（2025～2027）」の基本方針にもとづき、主要目標数値の達成に向けて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ7.7%減の336億85百万円、営業利益は前年同四半期に比べ29.1%増の17億73百万円、経常利益は前年同四半期に比べ28.9%増の17億92百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ30.4%増の12億35百万円となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書における営業利益と対応しております。

#### (建設事業)

売上高は前年同四半期に大型工事が進捗していた影響等により、前年同四半期に比べ7.7%減の335億53百万円となり、セグメント利益は手持工事の利益改善や追加工事の獲得による利益の上積み等により、前年同四半期に比べ27.7%増の17億68百万円となりました。

#### (不動産事業)

売上高は不動産賃貸収入が減少したこと等により、前年同四半期に比べ4.0%減の1億39百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ18.7%減の24百万円となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、現金預金が増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ88億65百万円減の340億2百万円となりました。

負債合計は、短期借入金及び支払手形・工事未払金等が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ99億84百万円減の155億93百万円となりました。

純資産合計は、配当金の支払により利益剰余金が1億72百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益12億35百万円を計上したこと等により、前連結会計年度に比べ11億18百万円増の184億8百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月28日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想につきましては、変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,932	8,121
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	32,043	19,660
電子記録債権	1,472	932
販売用不動産	986	972
未成工事支出金	394	506
材料貯蔵品	33	40
その他	725	228
貸倒引当金	△93	△64
流動資産合計	39,496	30,397
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	232	230
土地	365	365
その他（純額）	134	90
有形固定資産合計	732	686
無形固定資産	92	109
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,232	1,248
繰延税金資産	285	99
その他	1,036	1,469
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	2,547	2,809
固定資産合計	3,371	3,604
資産合計	42,867	34,002

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	13,333	8,641
電子記録債務	2,587	2,512
短期借入金	5,880	742
未払法人税等	535	93
契約負債	891	721
完成工事補償引当金	87	73
工事損失引当金	14	8
賞与引当金	421	186
その他	305	1,136
流動負債合計	24,057	14,117
固定負債		
長期借入金	100	46
退職給付に係る負債	1,315	1,325
その他	104	104
固定負債合計	1,520	1,476
負債合計	25,577	15,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,703	1,703
利益剰余金	13,153	14,216
自己株式	△4	△4
株主資本合計	16,852	17,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	123	212
退職給付に係る調整累計額	313	280
その他の包括利益累計額合計	437	493
純資産合計	17,290	18,408
負債純資産合計	42,867	34,002

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	36,481	33,685
売上原価	33,335	30,233
売上総利益	3,145	3,452
販売費及び一般管理費	1,771	1,678
営業利益	1,373	1,773
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	8	12
受取和解金	33	-
投資事業組合運用益	9	20
その他	9	10
営業外収益合計	61	44
営業外費用		
支払利息	7	18
その他	37	6
営業外費用合計	45	25
経常利益	1,390	1,792
税金等調整前四半期純利益	1,390	1,792
法人税、住民税及び事業税	264	395
法人税等調整額	177	160
法人税等合計	442	556
四半期純利益	947	1,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	947	1,235

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	947	1,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	89
退職給付に係る調整額	△38	△33
その他の包括利益合計	△4	55
四半期包括利益	943	1,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	943	1,291
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,338	142	36,481	—	36,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	2	7	△7	—
計	36,343	145	36,489	△7	36,481
セグメント利益	1,384	29	1,414	△40	1,373

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,548	137	33,685	—	33,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	2	8	△8	—
計	33,553	139	33,693	△8	33,685
セグメント利益	1,768	24	1,792	△18	1,773

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	73百万円	88百万円

## 3. 補足情報

受注高、売上高及び次期繰越高

## ①受注高

(単位：百万円)

区分			前第3 四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3 四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		比較増減(△)	
			金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
受注工事高	建築	官庁	2,015	8.7	2,837	6.2	821	40.8
		民間	12,273	52.9	31,118	68.3	18,844	153.5
		計	14,289	61.6	33,956	74.5	19,666	137.6
	土木	官庁	1,723	7.5	2,753	6.0	1,030	59.8
		民間	7,167	30.9	8,888	19.5	1,721	24.0
		計	8,890	38.4	11,642	25.5	2,751	30.9
合計		官庁	3,739	16.1	5,591	12.3	1,852	49.5
		民間	19,441	83.9	40,007	87.7	20,566	105.8
		計	23,180	100.0	45,598	100.0	22,418	96.7

## ②売上高

(単位：百万円)

区分			前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		比較増減(△)	
			金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
完成工事高	建築	官庁	4,777	13.1	1,488	4.4	△3,288	△68.8
		民間	24,674	67.6	24,125	71.6	△548	△2.2
		計	29,451	80.7	25,613	76.0	△3,837	△13.0
	土木	官庁	994	2.7	579	1.7	△414	△41.7
		民間	5,892	16.2	7,355	21.9	1,462	24.8
		計	6,886	18.9	7,934	23.6	1,047	15.2
	計	官庁	5,771	15.8	2,067	6.1	△3,703	△64.2
		民間	30,567	83.8	31,480	93.5	913	3.0
		計	36,338	99.6	33,548	99.6	△2,790	△7.7
不動産事業売上高			142	0.4	137	0.4	△5	△4.0
合計			36,481	100.0	33,685	100.0	△2,795	△7.7

## ③次期繰越高

(単位：百万円)

区分			前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		比較増減(△)	
			金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
繰越工事高	建築	官庁	3,181	7.0	3,436	4.0	255	8.0
		民間	29,584	64.6	66,172	78.0	36,587	123.7
		計	32,766	71.6	69,609	82.0	36,843	112.4
	土木	官庁	1,856	4.1	3,967	4.7	2,110	113.7
		民間	11,141	24.3	11,286	13.3	145	1.3
		計	12,997	28.4	15,254	18.0	2,256	17.4
合計		官庁	5,038	11.0	7,404	8.7	2,366	47.0
		民間	40,725	89.0	77,459	91.3	36,733	90.2
		計	45,763	100.0	84,863	100.0	39,099	85.4

(注) 1 当社グループでは建設事業以外は受注生産を行っておりません。

2 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

以 上